

第83回定時総会・201回理事会を開催

「平成29年度事業実績・平成30年度事業計画」などを審議

「自動車関係諸税の抜本改正」など重点5項目を中心に取り組む

議事進行をする内山田会長（前列左から4人目）

第

83回定時総会では、審議に先立って内山田竹志会長が挨拶し、「自動車業界が100年に一度といわれる大変革期を迎える中、会議所は、『総合団体』としての機能をフルに活かし、『クルマ社会の持続的で健全な発展』に向け、皆さまのご理解、ご支持をいただき、業界一体となって取り組んでまいります」と抱負を述べた。この後、内山田会長を議長に選出し、議案の審議に入った。総会・理事会の議案については、5月中旬までに第79回運営委員会および第200回理事会でそれぞれ書面審議のうえ、いずれも原案通りに承認されている。

総会では、事務局から中島哲専務理事が「平成29年度事業実績・平成30年度事業計画」について、畠山太作常務理事が「平成29年度決算・平成30年度予算」についてそれぞれ説明。また、「理事・監事選任」については、小林義信理事から理事・監事候補者の説明があり、理事候補5名、監事候補1名が提案された。審議の結果、3議案はいずれも原案通り承認された。続く第201回理事会では、内山田会長の議事進行の下、新たに理事に就任した5名全員が副会長に選定されたほか、顧問7名、評議員4名が新たに委嘱され、内山田体制の2期目がスタートした。

事業計画は、今年度の事業方針を「クルマ社会の健全な発展のため、自動車総合団体として関係業界



3議案が審議された第83回定時総会

の支持・支援を得、諸課題の解決に一体で取り組む」とし、委員会活動などを通じて、①政策要望・提言活動、②「クルマ好き」育み活動、③啓発・研究活動などを行っていくほか、日本自動車会館をベースに業界の連携強化や、PR・啓発・社会貢献活動などを展開していく。

◇重点項目は次の通り。

①自動車関係諸税の抜本改正

- 業界を挙げた、ユーザーを中軸に据えたインパクトある強力な訴求活動で、悲願の負担軽減・簡素化を実現

②クルマ好きの育み

- 中期的なクルマユーザー・業界人材の確保
- 全面改定新たな会議所ホームページ(HP)で、

内山田 竹志会長 ご挨拶

本日は、平成29年度の事業実績や、平成30年度の計画について、ご審議をお願いいたしますが、その前に、私ども業界を取り巻く環境と、今後いかに対処していくべきか、私の考えを一言申し述べさせていただきます。



現在、自動車業界は「100年に一度」といわれる大変革期を迎えています。クルマの進化は目覚ましく、クルマ社会全体を巻き込んだ大きな変革が進行中です。さらにここきて、懸念されたアメリカとの通商問題は、「貿易戦争」と表現されるレベルまでリスクが高まり、また緊迫した折衝の続く北朝鮮情勢は、今後どのような影響をもたらすか不透明な状況です。

このような先が見通せない、舵取りの大変難しい状況下だからこそ、第一線で日々汗を流されている会員メンバーのために、私たちに何ができるか真剣に考え、皆さまと一致団結して、確実な成果を上げることが求められています。

私どもの今年度の最大ミッションは、「自動車関係諸税の抜本改正」です。新車販売は、国内自動車産業のベースとなるもので、特に本年は税制大綱で示された改正の「勝負の年」であり、産業基盤をより強固なものとする「チャンス年」でもあります。幸い、好調な世界経

済を背景に、日本経済は回復基調で、新車販売は今年も3年連続で500万台規模を確保できる見通しですが、540万人の雇用を支えるこのレベルは、何としても守り通さなければなりません。

過重で不合理な税を強いられている多くのユーザーの思いを、納税者の真の「声」として結集し、政府・与党に対して、官邸の政策の重点キーワードである「若者、子育て、地方」を意識しながら、財政の面からも納得性あるロジックで抜本改正を粘り強く訴求することが肝要です。業界の力を合わせ、悲願である「自動車関係諸税の負担軽減と簡素化」の実現、とりわけ自動車税の引き下げなど、保有課税の見直しに向けて邁進してまいります。

税制改正に加えて、「クルマ好き」を育む活動については、中期的なクルマユーザーと業界人材確保の観点から重要で、組織的に進め、定着させてまいりたいと思います。安倍政権の目玉政策である「働き方改革」「生産性革命」についても、自らの課題としてとらえ、取り組みのベースとなる「活力ある職場づくり」に向け、4月に「人材委員会」を新たに立ち上げました。

このように、会議所は、「総合団体」としての機能をフルに活かし、「クルマ社会の持続的で健全な発展」に向け、皆さまのご理解、ご支持をいただき、業界一体となって取り組んでまいります。そうした思いで、前年度の取り組みを振り返り、今年度の計画を取りまとめましたので、活発なご審議をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

自動車関連情報（イベント他）を一括集約・提供し、クルマの魅力を伝える

- 「親子キッズエンジニア（於自動車会館／自技会共催で昨年度東京初開催）」の定着とHP・会館の認知浸透への活用

③活力（働きやすさ+働き甲斐）ある職場づくり

- 「人材委員会」を新たに立ち上げ、「働く」ことについて人事の基本から再考し、活力のあり方を考える機運醸成

④自賠責保険料一般財源繰り入れ分の一部繰り戻し

の継続・拡大

- 15年ぶりに実現した繰り戻しを梃子に、被害者救済事業の安定的・持続的拡充を確固たるものとする

⑤時事・重要情報のタイムリーな把握と展開

- 自動運転、交通事故対策、地球温暖化対策や経済・人に関わる時事問題を、会員研修会、委員会で重点取り上げ

＝懇親会の模様は7月号に掲載します＝